

余暇・遊びを広げるためのチャレンジシート

日付： / / 氏名：

記録者（ ）

本人の実態を書き出す		支援や工夫の必要性	広げるためのポイント
好きな活動	できる活動 (好き・興味関心がある)		生活の中の活動として設定する。見通しを伝える。適切ではない内容は、設定しない又は適切な形に変えて設定する(場所、内容など)。
	興奮する活動		場所・境界・見通し(終わり)を明確にして実施する。興奮の状態や依存性を確認しながら調整する。
	感覚的な活動		場所・境界・見通し(終わり)を明確にして実施する。興奮の状態や依存性を確認しながら調整する。
できる活動	できる活動 (好きでも・嫌いでもない)		生活の中の2つの活動として設定する。活用し機会を設定する。見通しを伝えて実施する(終わりを明確にする)。
	落ち着く活動		生活の中に計画的に組み込む、見通しを伝える(終わりを明確にする)。
	感覚的な活動		場所・境界・見通し(終わり)を明確にして実施する。興奮の状態や依存性を確認しながら調整する。
もう少しでできる活動 (芽生え反応)			勉強や仕事のように、1対1のエリアで教える。活動内容・やり方・見通しを見える形でわかりやすくする。できたものは自立エリアで一人で実施する(→遊びエリア、生活の2つの活動として設定する)。

※このシートはTEACCH自閉症プログラムのP(合格)・E(芽生え)・F(不合格)の視点を参考しています。
 ※本書『フレームワークを活用した自閉症支援2 生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』25～37頁を参考にしてください。